

Hospitalist を目指すなら！

名古屋第二赤十字病院 総合内科

名古屋第二赤十字病院総合内科では、野口善令副院長の指導のもと、診断推論を突きつめ「診断をつける科」としての在り方に重点を置いています。

「不明熱」を中心に感染症、リウマチ・膠原病、アレルギー性疾患など横断的な視点が必要な領域の疾患の入院診療を行っています。

臓器別では対応できない患者さんの訴えに対する対応や輸液管理、抗菌薬選択など内科医としての基礎づくりを外来研修・入院研修を通して行っています。

カンファレンスでは、入院・外来患者のすべてを検討対象にし、分かりにくい病態の理解や治療方針の決定など、研修医単独では難しいことに関してもスタッフみんなで解決策を考えていきます。

臓器別研修で学んだことをもとに「疾患」が診られるようになったいま、
後期研修では「ひと」という視点で「患者さんを診る」という総合医のマインドを
学び、かつ医学的な診療能力を総合的に高めていく機会として
当院の後期研修を役立ててほしいと思います。

Hospitalist を目指している若い先生方、ぜひ、ブースにお越し下さい。

yokoe@nagoya2.jrc.or.jp



名古屋第二赤十字病院

日本赤十字社